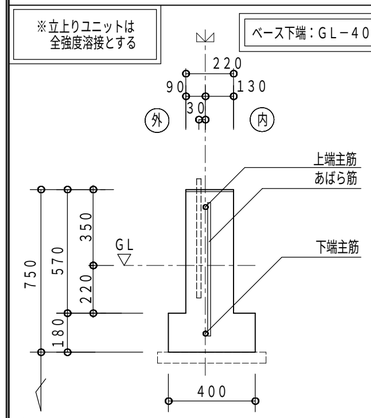
PS3AGN−40

杭状地盤補強用　外壁線布基礎

※立上りユニットは全強度溶接とする

ベース下端：GL−400



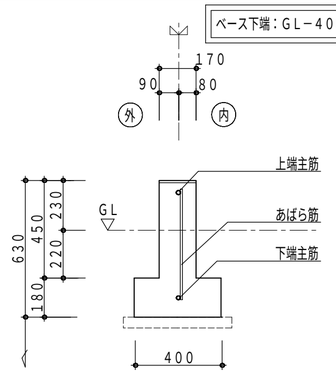
基礎下は杭状地盤補強頭部納まり参照

上端主筋	1−D22（SD345）
下端主筋	1−D22（SD345）
腹筋	−
あばら筋	D13 @300
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

PS3R1GN−40C1

杭状地盤補強用外壁線布基礎（上端カット）

ベース下端：GL−400



基礎下は杭状地盤補強頭部納まり参照

上端主筋	1−D19（SD345）
下端主筋	1−D19（SD345）
腹筋	−
あばら筋	D10@220
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

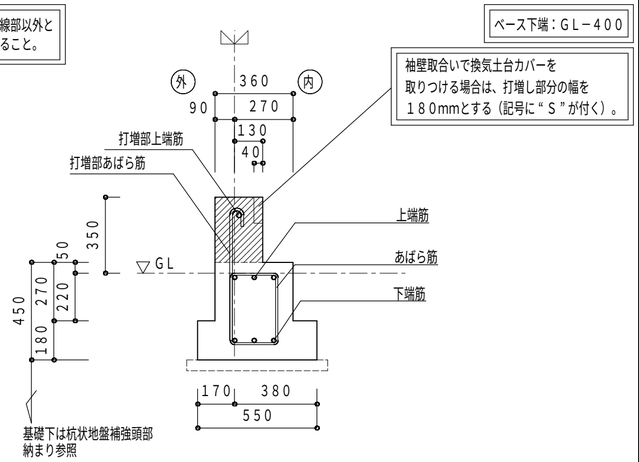
PS3AGN−55P（S）F

杭状地盤補強用　外壁線布基礎

打増部（斜線部）は原則斜線部以外と一体でコンクリート打設すること。

ベース下端：GL−400

袖壁取合いで換気土台カバーを取りつける場合は、打増し部分の幅を180mmとする（記号に“S”が付く）。



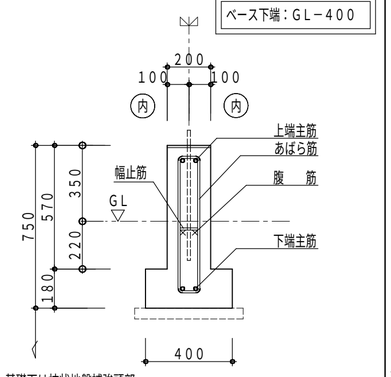
基礎下は杭状地盤補強頭部納まり参照

打増部上端筋	1−D22（SD345）
打増部あばら筋	D13 @190
上端筋	3−D19（SD345）
下端筋	3−D19（SD345）
あばら筋	□−D10 @150
ベース主筋	−
ベース補助筋	−

PH3ANN−40

杭状地盤補強用　間仕切布基礎

ベース下端：GL−400



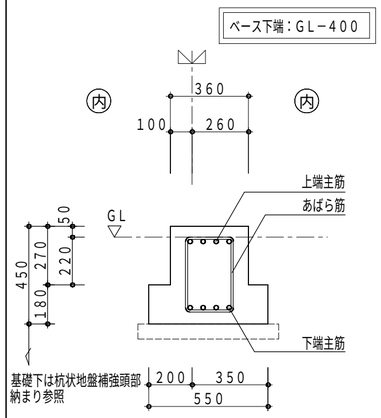
基礎下は杭状地盤補強頭部納まり参照

上端主筋	2−D19（SD345）
下端主筋	2−D19（SD345）
腹筋	2−D10
幅止筋	1−D10@1000
あばら筋	□−D10@250
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

PH3ANN−55P

杭状地盤補強用　間仕切布基礎

ベース下端：GL−400



基礎下は杭状地盤補強頭部納まり参照

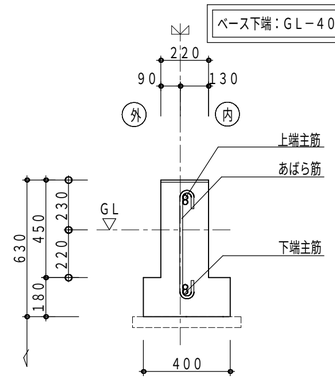
基礎天端に鋼製束が配置される場合は、束の調整が必要。（部品は同一部品）

上端主筋*	or 4−D19（SD345） 3−D22（SD345）
下端主筋*	or 4−D19（SD345） 3−D22（SD345）
あばら筋	□−D10 @190
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

PS3AGN−40C1

杭状地盤補強用　外壁線布基礎

ベース下端：GL−400



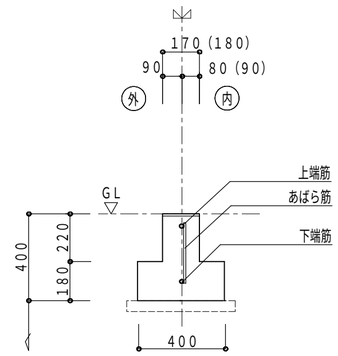
基礎下は杭状地盤補強頭部納まり参照

上端主筋	2−D19（SD345）
下端主筋	2−D19（SD345）
腹筋	−
あばら筋	D13@300
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

PS3R1GN−40（S）A2

杭状地盤補強用　外壁線布基礎（上端カット）

ベース下端：GL−400



基礎下は杭状地盤補強頭部納まり参照

上端筋	1−D19（SD345）
下端筋	1−D19（SD345）
腹筋	−
あばら筋	D10@220
ベース主筋	−
ベース補助筋	−

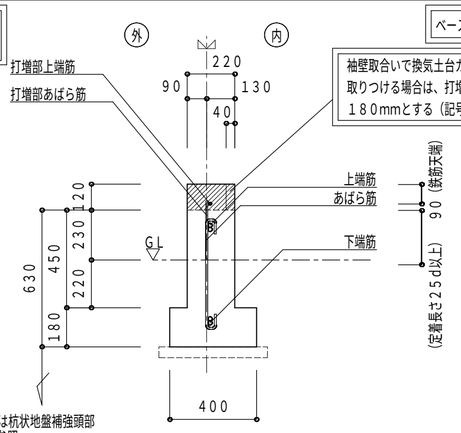
PS3AGN−40（S）C1F

杭状地盤補強用　外壁線布基礎

打増部（斜線部）は原則斜線部以外と一体でコンクリート打設すること。

ベース下端：GL−400

袖壁取合いで換気土台カバーを取りつける場合は、打増し部分の幅を180mmとする（記号に“S”が付く）。



基礎下は杭状地盤補強頭部納まり参照

上端筋	2−D19（SD345）
下端筋	2−D19（SD345）
腹筋	−
あばら筋	D13 @300
ベース主筋	−
ベース補助筋	−
打増部上端筋	1−D13
打増部あばら筋	D10 @300

設計課
'26.10.19
井出(菜)

05087204208000　2026/9/18

記事

※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。

大和ハウス工業株式会社

北陸支社集合住宅一級建築士事務所　石川1156号

承認	照査	代表となる設計者
	石井	一級建築士　381819号 井出　菜々子
その他の設計者		企画製図 / 生産製図 / IC 大連（名古屋）

工事名称	D−ROOM二ツ屋町HM　新築工事
図面名称	各伏図

作成年月日

縮尺

工事番号　0508721020000

図面番号　S−01

保管図面区分　【伏図】

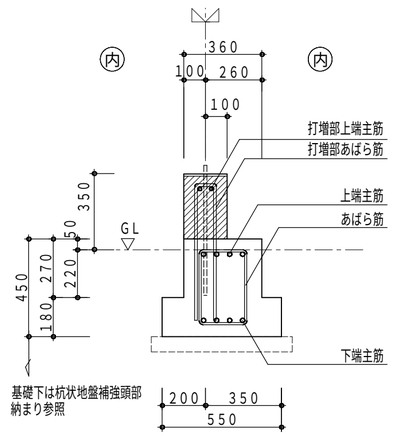
Ver　26080

102139

PH3ANN−55PF

杭状地盤補強用　間仕切布基礎

ベース下端：GL−400



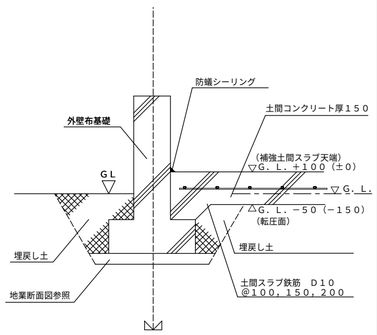
打増部上端主筋	2−D19（SD345）
打増部あばら筋	U−D10 @190
上端主筋＊	4−D19（SD345） or 3−D22（SD345）
下端主筋＊	4−D19（SD345） or 3−D22（SD345）
あばら筋	□−D10 @190
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

打増部（斜線部）は斜線部以外と
一体でコンクリート打設すること。

基礎天端に鋼製束が配置される場合は、
束の調整が必要。（部品は同一部品）

凡例

補強土間スラブ



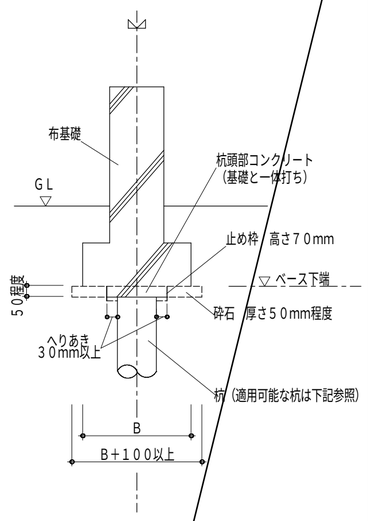
（　）は内は一般部の基礎の立ち上がりが
４５０mm以外を示す。

凡例

地業断面図　Ｄ地盤

杭地業タイプＡ

止め枠（鋼管またはＶＵ管）を用いる仕様



適用可能杭

・小口径鋼管杭工法
・Ｄ−ＴＥＣ　ＳＰＡＩＲＡＬ工法
・木杭工法
・既成コンクリート杭工法
（ＰＣ杭、ＲＣ杭、Ｈ型ＰＣ杭）
・現場打ちコンクリート杭工法
・ピュアパイル工法

等、杭径が小さいもので
かつ、止め枠がベースからはみ出さないもの

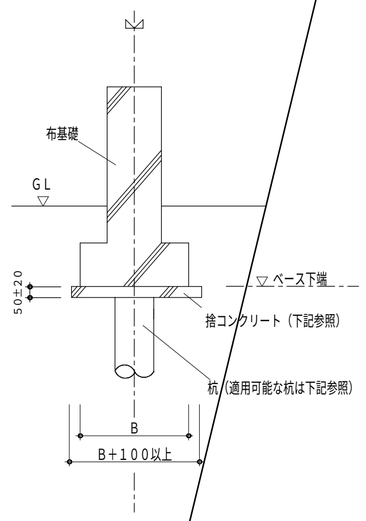
凡例

地業断面図　Ｄ地盤

杭地業タイプＢ

止め枠を使用せず、捨コンクリートをいったん打設した後に
基礎本体の打設を行う仕様

小口径鋼管杭工法等の場合



適用可能杭

・小口径鋼管杭工法
・Ｄ−ＴＥＣ　ＳＰＡＩＲＡＬ工法
・木杭工法
・既成コンクリート杭工法
（ＰＣ杭、ＲＣ杭、Ｈ型ＰＣ杭）
・現場打ちコンクリート杭工法
・ピュアパイル工法

等、杭径が小さいもの。

捨コンクリート

捨コンクリート
（品質基準強度　Ｆｑ＝
２１Ｎ／mm^2　＋構造体強度補正値　以上）
※構造体補正値については、
ＪＡＳＳ５　5節5．2を参照

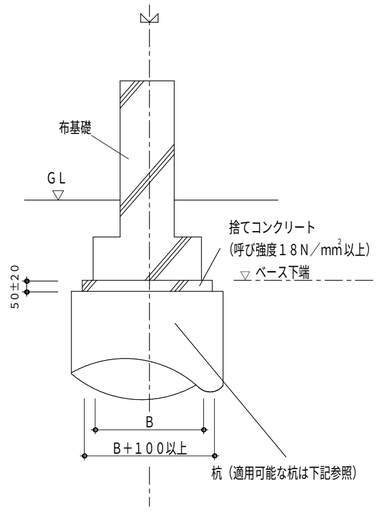
凡例

地業断面図　Ｄ地盤

杭地業タイプＢ

止め枠を使用せず、捨コンクリートをいったん打設した後に
基礎本体の打設を行う仕様

柱状改良工法等の場合



適用可能杭

・柱状改良工法
・タイガーパイル工法
・Ｎｅｗタイガーパイル工法
・しん兵衛工法

等、杭径が大きいもの。

凡例

Ｄ地盤における基礎の地業

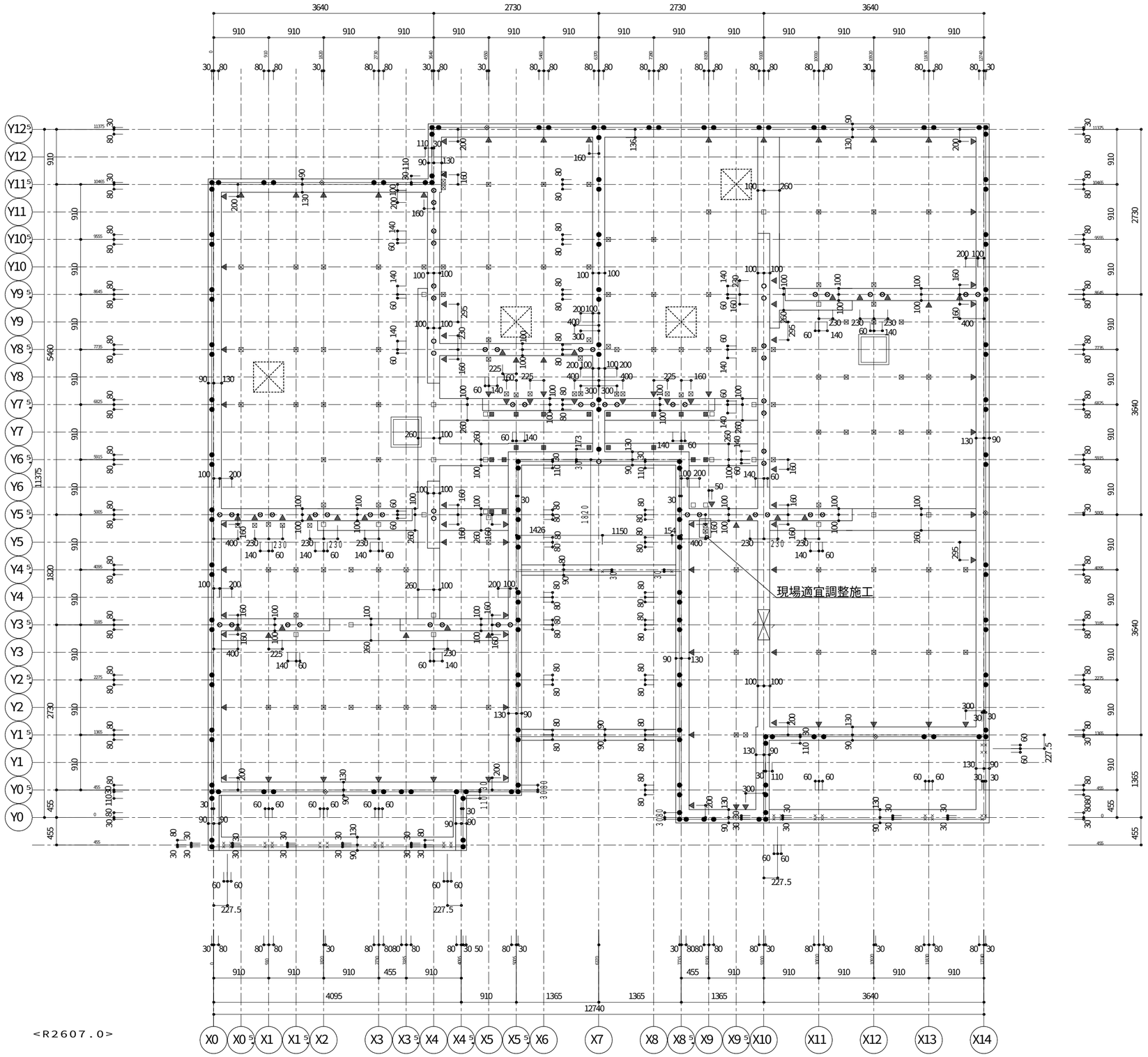
・Ｄ地盤の基礎の地業の捨コンクリートは、
厚さ５０±２０の範囲で施工すること。
・杭地業タイプＡの場合は
砕石地業施工要領（小口径鋼管杭）
［Ｂ１００−１０１−０１１］参照のこと。
・各杭工法の適用範囲及び設計条件は、
各杭工法毎の第三者機関による
建築技術性能証明の内容に従うものとする。
・各杭工法の採用できる杭径は、
杭設計システムに登録されているものに限る。
・自社工法（Ｄ−ＴＥＣ　ＰＩＬＥ工法、
Ｄ−ＴＥＣ　ＰＩＬＥ工法ＩＩ、
Ｄ−ＴＥＣ　ＳＰＩＲＡＬ工法）
柱状改良工法以外の杭工法の
設計施工基準については、
施工会社に確認するものとする。

設計課
'26.10.19
井出(菜)

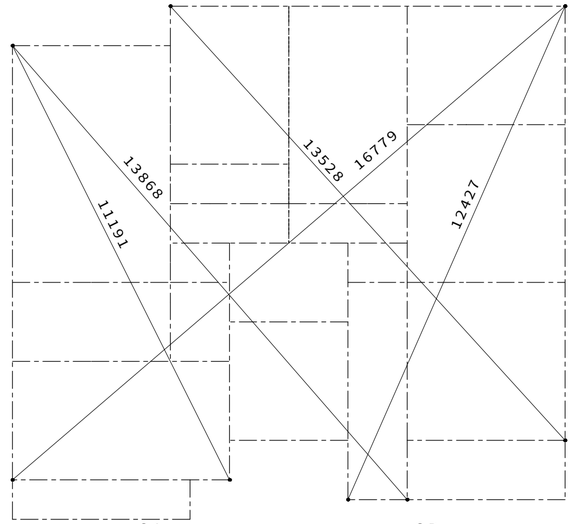
0508720420800０　2026/9/18

記事	※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。	大和ハウス工業株式会社 北陸支社集合住宅一級建築士事務所　石川1156号	承認 / 照査：石井 その他の設計者	代表となる設計者 一級建築士　381819号 井出　菜々子 企画製図 / 生産製図：大連（名古屋） / ＩＣ	工事名称：Ｄ−ＲＯＯＭ二ツ屋町ＨＭ　新築工事 図面名称：各伏図 作成年月日 / 縮尺 / 工事番号：0508721020000 図面番号：Ｓ−02 保管図面区分：【伏図】

Ver　26080　　102139



【基礎立上り・アンカー伏図】ＨＶ５２　Ｓ＝１／５０



<R2607.0>

【対角寸法図】ＨＶ０３　Ｓ＝１／１００

(注)　対角寸法はモジュール芯における寸法とする。

対角寸法線

凡 例

(注) コンクリート設計基準強度

基礎　　：２４Ｎ／平方ミリとする。

(※対象部位：布基礎、独立基礎、くい基礎用１階床スラブ、くい基礎１階床束用補強基礎及び補強床束ベース)

土間コン（無筋の場合）：１８Ｎ／平方ミリ以上とする。

凡 例

アンカーボルト

- ● ＤＭ２０　Ｉ型　Ｍ２０　Ｌ＝５５０　（出寸法５０）
- ○ ＤＭ１６　Ｉ型　Ｍ１６　Ｌ＝５２０　（出寸法４５）
- ⊗ ＩＴ２２Ｓ　Ｉ型　Ｍ２２　Ｌ＝６００（出寸法５０）
- × ＬＭ１２　Ｌ型　Ｍ１２　Ｌ＝３００　（出寸法３０）
- ◈ ＬＭ１６　Ｌ型　Ｍ１６　Ｌ＝４００　（出寸法４５）
  ※ＤＭ１６を代わりに用いても可

出寸法

▼ インサートナット　Ｍ－８

床下換気孔（丸型）　２００φ

床下換気孔（丸型）　１４０φ

床下貫通口　５００×２５０（２００）

※深基礎がある場合、
床下貫通口は全て５００×２００とすること。

スリーブ　▽

鋼製束　⊠ ＮＬＫ－４ＮＡ　■ ＮＬＫ－２３ＮＡ　□ ＮＬＫ－３ＮＡ

※　土間コン施工時、
腰壁・廊下柱などの部位は箱抜きを行うこと。

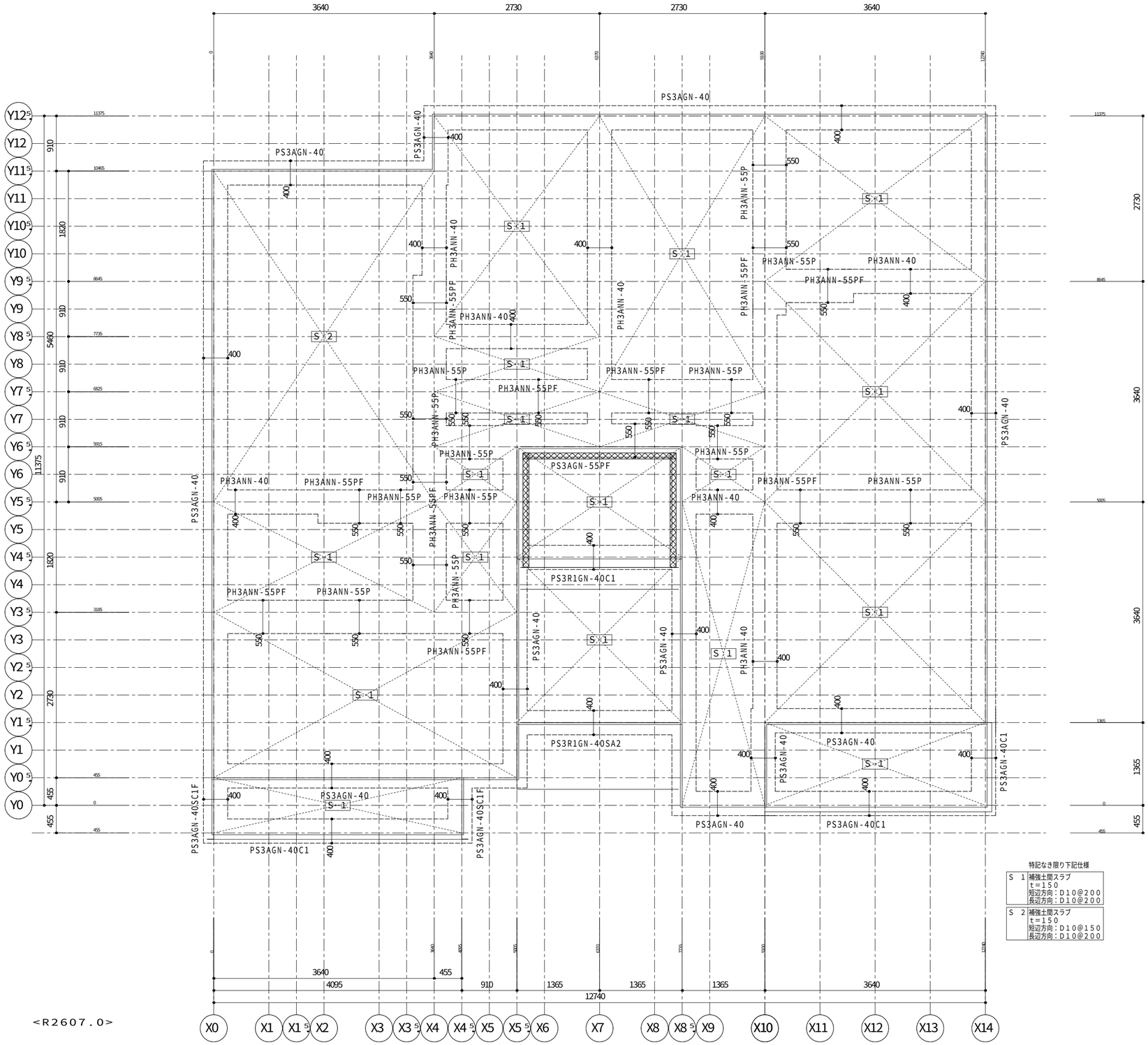
※　鋼製束記号末尾Ａ付きはコンクリート釘別仕切り

設計課
'26.10.19
井出(菜)

05087204208000　2026/9/18

記事	※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。	大和ハウス工業株式会社 北陸支社集合住宅一級建築士事務所　石川1156号	承認 / 照査：石井 その他の設計者	代表となる設計者 一級建築士　381819号 井出　菜々子 企画製図 / 生産製図：大連(名古屋) / ＩＣ	工事名称：Ｄ－ＲＯＯＭ二ツ屋町ＨＭ　新築工事 図面名称：各伏図 作成年月日 / 縮尺 / 工事番号：0508721020000 図面番号：Ｓ－03 保管図面区分：【伏図】

Ver　26080　102139



特記なき限り下記仕様

S 1	補強土間スラブ ｔ＝１５０ 短辺方向：Ｄ１０@２００ 長辺方向：Ｄ１０@２００
S 2	補強土間スラブ ｔ＝１５０ 短辺方向：Ｄ１０@１５０ 長辺方向：Ｄ１０@２００

土間仕様
補強土間スラブ
土間コンクリート　　ｔ＝１５０

凡 例

(注) コンクリート設計基準強度

基礎　　：２４Ｎ／平方ミリとする。

(※対象部位：布基礎、独立基礎、くい基礎用１階床スラブ、くい基礎１階床束用補強基礎及び補強束ベース)

土間コン（無筋の場合）：１８Ｎ／平方ミリ以上とする。

凡 例

：補強床束ベース

：補強土間スラブ

：屋外粒状防蟻剤

設計課 '26.10.19 井出(菜)

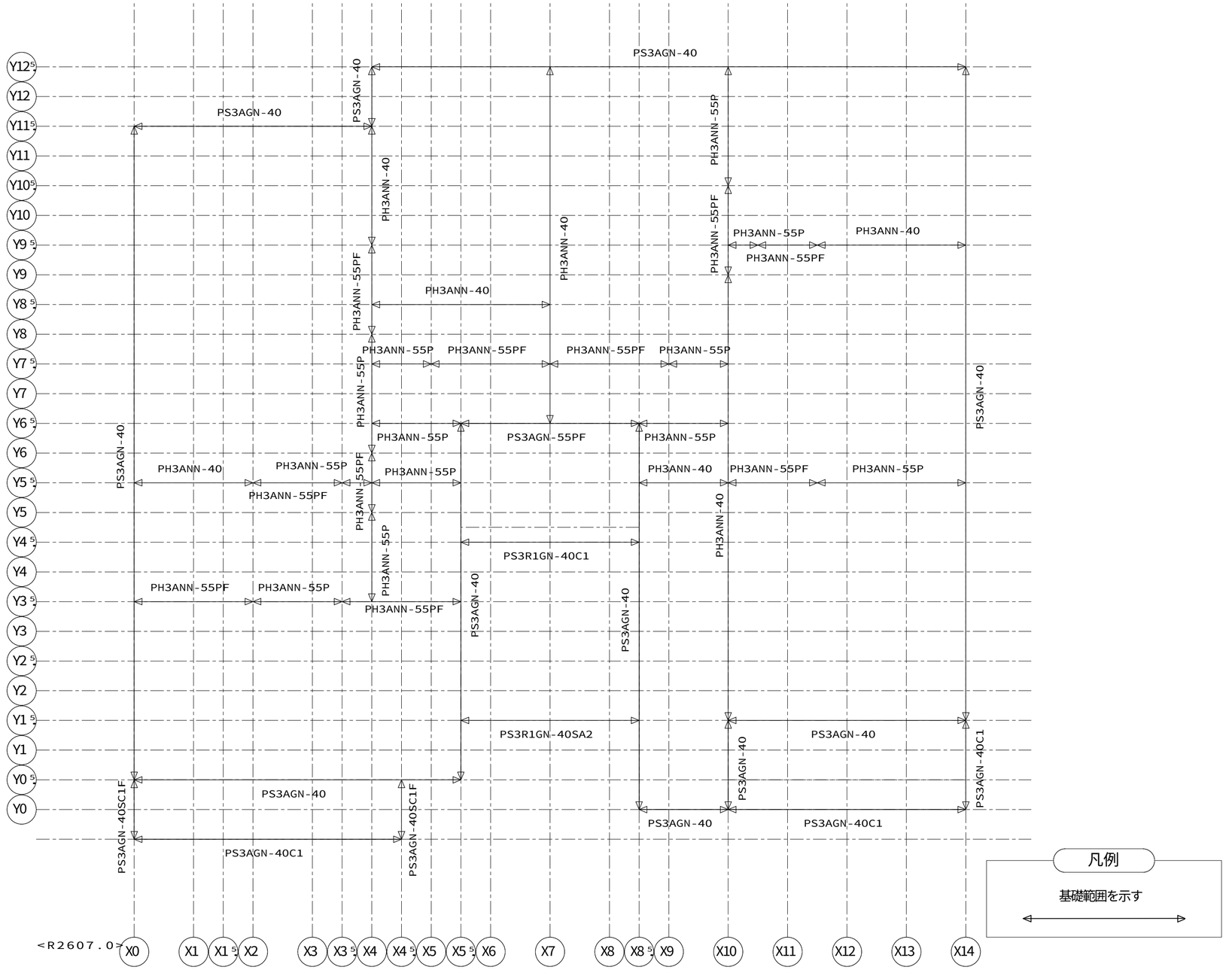
<R2607.0>

【基礎ベース・土間伏図】ＨＶ５３　Ｓ＝１／５０

05087204208000　2026/9/18

記事	※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。	大和ハウス工業株式会社 北陸支社集合住宅一級建築士事務所　石川1156号	承認	照査	代表となる設計者 一級建築士　381819号 井出　菜々子	工事名称	Ｄ－ＲＯＯＭ二ツ屋町ＨＭ　新築工事	作成年月日	図面番号
				石井				縮尺	Ｓ－04
			その他の設計者		企画製図 / 生産製図 / ＩＣ 大連（名古屋）	図面名称	各伏図	工事番号 0508721020000	保管図面区分 【伏図】

Ver　26080　　102139



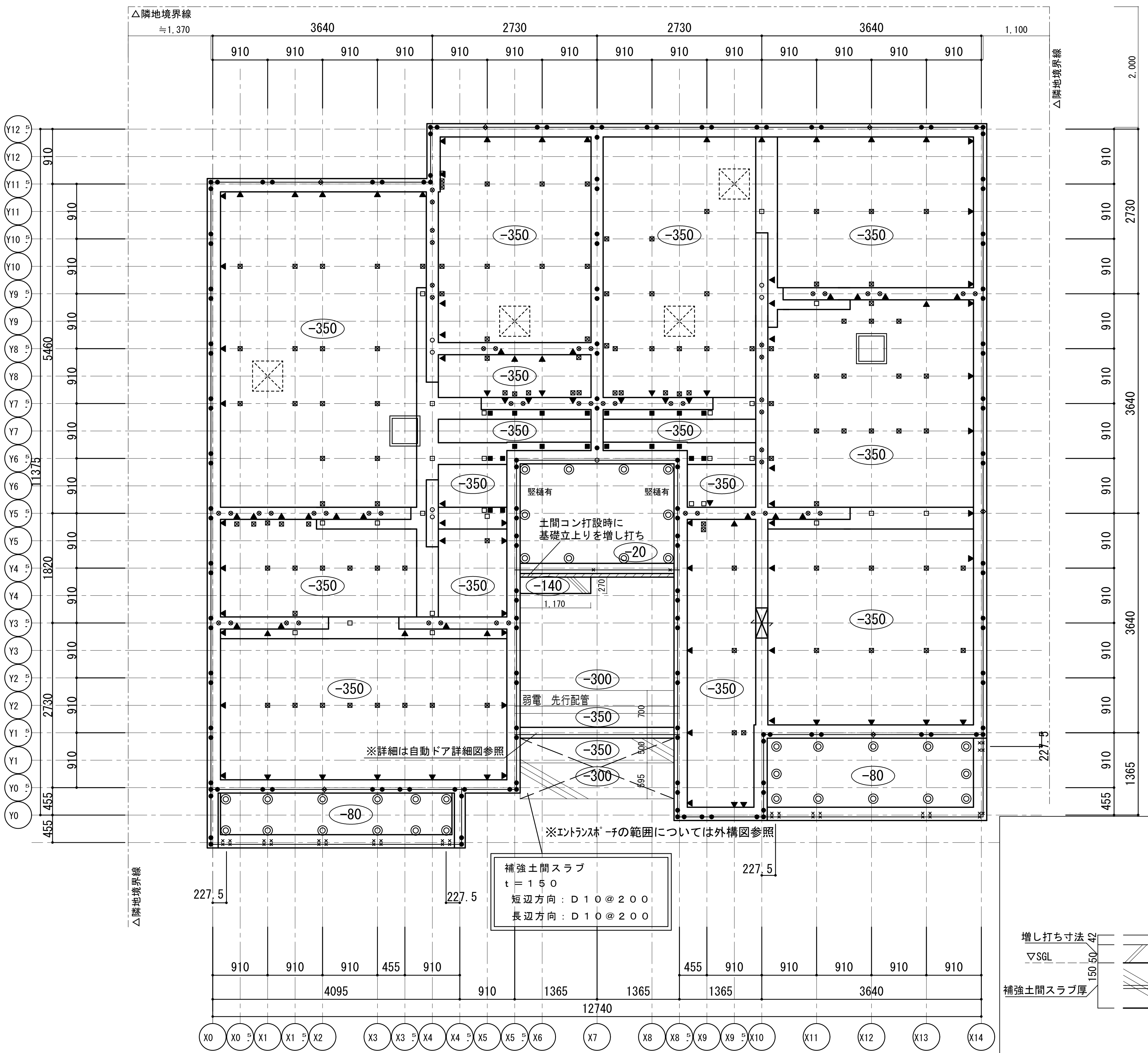
【基礎入力図】ＨＶ５１　Ｓ＝１／５０

設計課
'26.10.19
井出(菜)

0508720420800 0 2026/9/18

記事	※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。	大和ハウス工業株式会社 北陸支社集合住宅一級建築士事務所　石川1156号	承認 / 照査 石井 その他の設計者	代表となる設計者 一級建築士　381819号 井出　菜々子 企画製図 / 生産製図 大連(名古屋) / ＩＣ	工事名称 D－ROOM二ツ屋町HM　新築工事 図面名称 各伏図	作成年月日 縮尺 工事番号 0508721020000 図面番号 S－05 保管図面区分 【伏図】

Ver 26080　102139

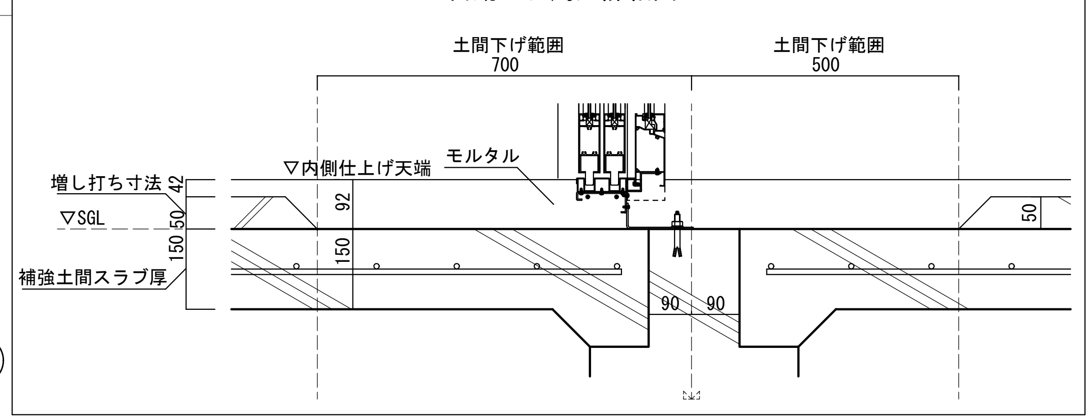


※レベルは全て基礎天端（SGL+350）からのレベルを示す。
※スリーブ設置の際は設備図を確認すること
※ＧＬ＝設計ＧＬ

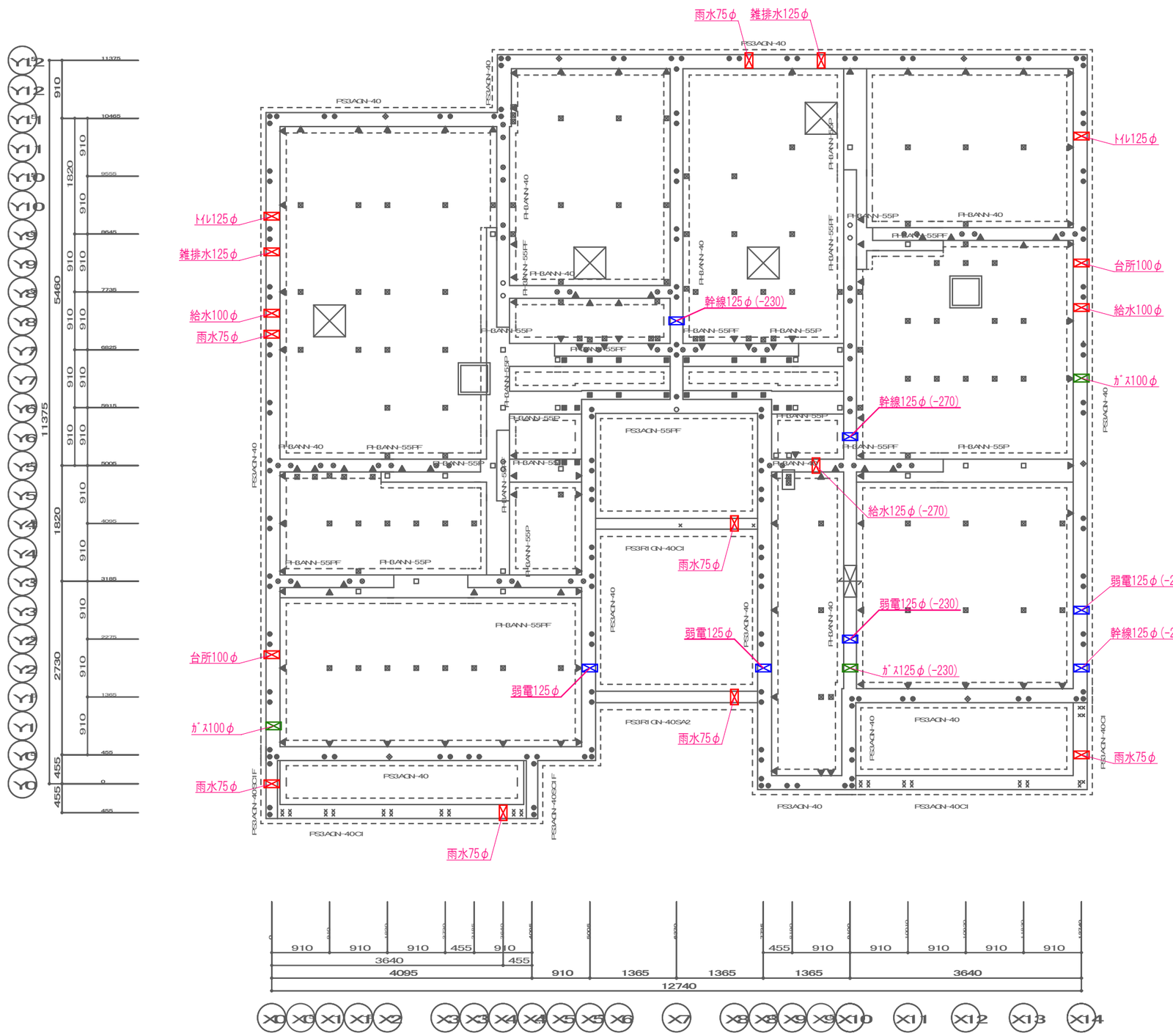
◎ 手間ナインDOMA-340-DH（30本/ケース）L=340（シーシーアイ）
現場手配　@910
D10L型300×300　現場カットにて使用可

※土間レベルはタイル仕上げ高さを考慮すること

自動ドア周辺詳細図



記事	※　本図面の縮尺はＡ２サイズを標準としています。　Ａ３サイズに印刷の場合は約７１％に縮小されます。
大和ハウス工業株式会社	北陸支社集合住宅一級建築士事務所　石川　1156号
照査	石井
代表となる設計者	一級建築士 381819号　井出　菜々子
その他の設計者	
企画製図 / 生産製図 / ＩＣ	
工事名称	Ｄ－ＲＯＯＭ二ツ屋町ＨＭ　新築工事
図面名称	基礎付帯図
作成年月日	2026/10/02
縮尺	S=1/50
工事番号	0508721020000
図面番号	Ｓ－５－２



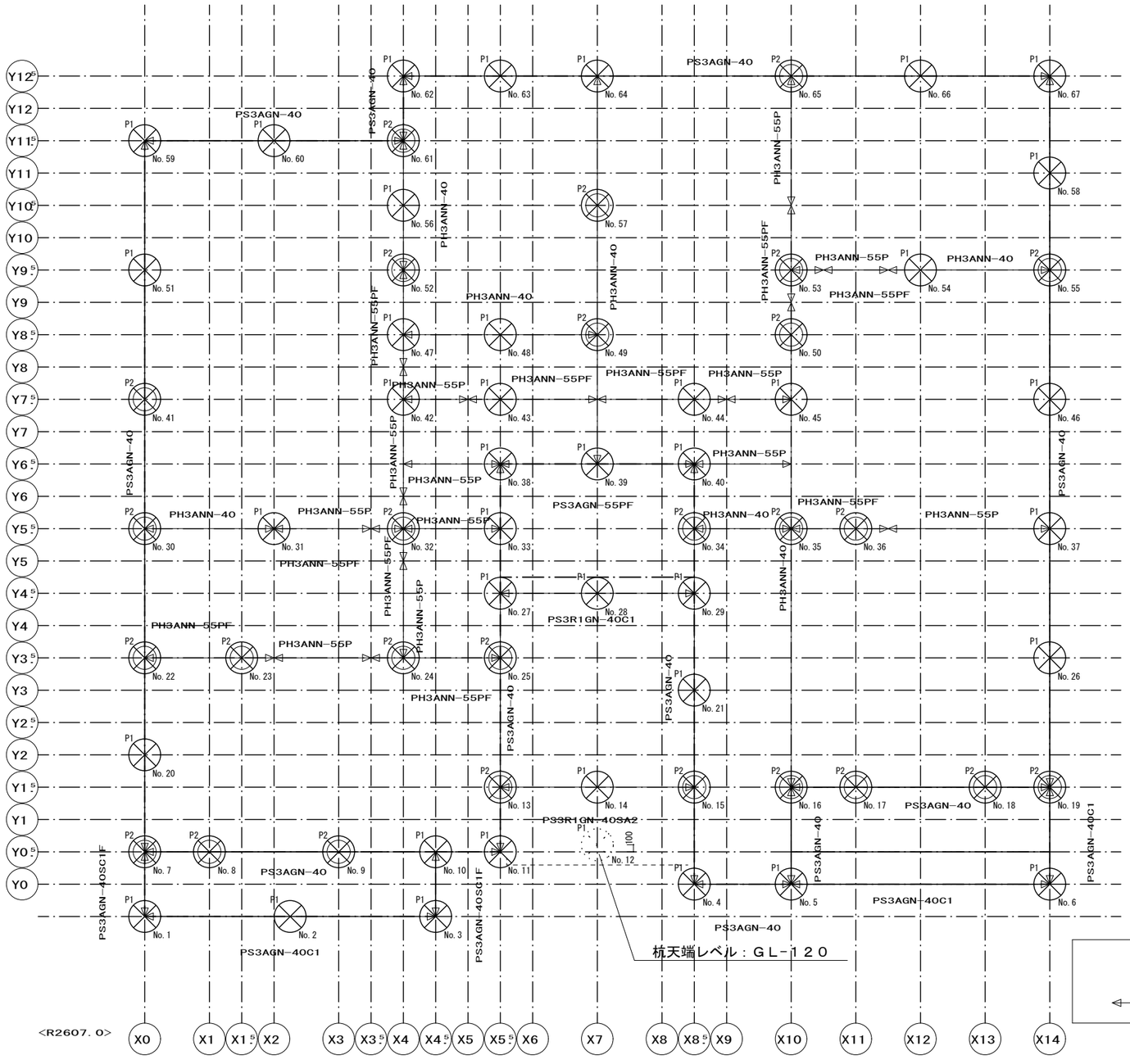
【 基礎立上り・アンカー伏図】HV５２　S＝１／５０

【 基礎ベース・土間伏図】HV５３　S＝１／５０

決定図
'26.10.19
設計課

050-87-20420-30-00

記事		大和ハウス工業株式会社	承認 / 照査 石井	代表となる設計者 一級建築士 381819 号 井出 菜々子	工事名称	D－ROOMニツ屋町HM　新築工事	作成年月日 2026/10/02 / 縮尺 S=1/50 / 図面番号 S－5－3
		北陸支社集合住宅一級建築士事務所　石川　1156 号	その他の設計者	企画製図 / IC / 生産製図	図面名称	スリーブ図	工事番号 0508721020000 / 保管図面区分 伏図



凡例

基礎範囲を示す

杭仕様（Ｐ１）

ＤＧハイブリッド工法	
コラム径	Φ400 ㎜
コラム長	5.4m
設計基準強度	1,000 kN/㎡
芯材	Φ48.6 − 2.3 ㎜
芯材長	5.0 m
本数	40 本

杭仕様（Ｐ２）

ＤＧハイブリッド工法	
コラム径	Φ500 ㎜
コラム長	5.4m
設計基準強度	1,000 kN/㎡
芯材	Φ76.3 − 2.3 ㎜
芯材長	5.0 m
本数	27 本

決定図
'26.10.19
設計課

【基礎入力図】ＨＶ５１　Ｓ＝１／５０

※特記なき杭天端レベルはＧＬ−４５０

<R2607.0>

05087204208000　2026/9/18

記事

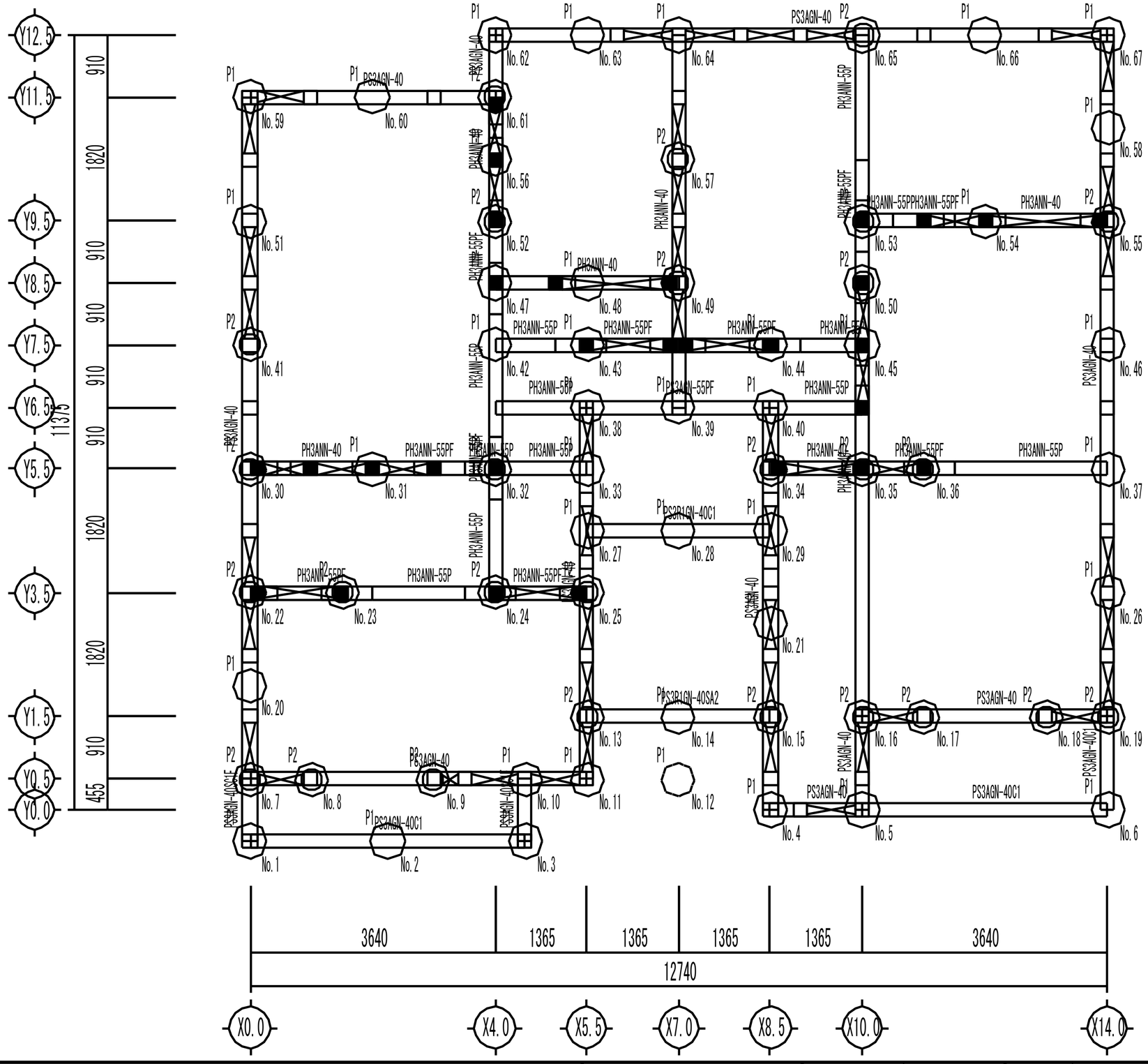
※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。

大和ハウス工業株式会社

北陸支社集合住宅一級建築士事務所　石川1156号

承認	照査	代表となる設計者			
	石井	一級建築士　381819号 井出　菜々子			
その他の設計者		企画製図	生産製図 大連 （名古屋）	１Ｃ	

工事名称	ＤーＲＯＯＭ二ツ屋町ＨＭ　新築工事	作成年月日	図面番号
		縮　尺	Ｓ−05-04
図面名称	各伏図	工事番号 0508721020000	保管図面区分 【伏図】



決定図
'26.10.19
設計課

記事		大和ハウス工業株式会社 北陸支社集合住宅一級建築士事務所　石川1156号	承認 管理建築士　照査 その他の設計者	代表となる設計者 一級建築士　381819号 井出菜々子　印 企画製図　生産製図　L C	工事名称	D－ROOMニツ屋町HM　新築工事	作成年月日 2026/10/8 縮　尺
					図面名称	各伏図	工事番号

図面番号 S-5-5

杭番号	モジュール位置（P）		杭種	杭工法	杭長	モジュール芯からの許容杭芯ずれ量(mm)			
	X	Y			(m)	X方向		Y方向	
1	0.000	-0.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-50	101	-50	101
2	2.250	-0.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-180	180	*-30*	*70*
3	4.500	-0.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-112	50	-50	112
4	8.500	0.000	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-50*	*33*	*-50*	*33*
5	10.000	0.000	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-94	94	*-50*	*33*
6	14.000	0.000	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-75	50	-50	75
7	0.000	0.500	P2	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-63*	*20*	-80	80
8	1.000	0.500	P2	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-72	72	*-9*	*55*
9	3.000	0.500	P2	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-64	64	*-6*	*51*
10	4.500	0.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-84	84	*-38*	*50*
11	5.500	0.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-22*	*50*	*-50*	*22*
13	5.500	1.500	P2	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-54*	*24*	*-54*	*54*
14	7.000	1.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-180	180	*-50*	*50*
15	8.500	1.500	P2	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-23*	*53*	*-53*	*53*
16	10.000	1.500	P2	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-53*	*13*	*-53*	*53*
17	11.000	1.500	P2	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-66	66	*-11*	*47*
18	13.000	1.500	P2	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-66	66	*-11*	*47*
19	14.000	1.500	P2	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-18*	*63*	-73	73
20	0.000	2.000	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-30*	*70*	-127	127
21	8.500	3.000	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-30*	*70*	-94	94
22	0.000	3.500	P2	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-63*	*18*	-74	74
23	1.500	3.500	P2	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-71	71	*-143*	*-26*
24	4.000	3.500	P2	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-60*	*60*	*-60*	*15*
25	5.500	3.500	P2	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-16*	*63*	-66	66
26	14.000	3.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-70*	*30*	-73	73
27	5.500	4.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-50*	*43*	-94	94
28	7.000	4.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-166	166	*-55*	*45*
29	8.500	4.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-34*	*50*	-74	74
30	0.000	5.500	P2	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-63*	*19*	-78	78
31	2.000	5.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-85	85	*-50*	*-5*
32	4.000	5.500	P2	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-58*	*58*	*-58*	*58*
33	5.500	5.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-28*	*50*	-79	79
34	8.500	5.500	P2	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-63*	*17*	-70	70
35	10.000	5.500	P2	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-48*	*48*	*-48*	*48*
36	11.000	5.500	P2	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-69	69	-142	-17
37	14.000	5.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-26*	*50*	-73	73
38	5.500	6.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-89	89	*-22*	*75*
39	7.000	6.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-69	69	*-69*	*25*
40	8.500	6.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-92	92	*-23*	*75*
41	0.000	7.500	P2	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*1*	*77*	-81	81
42	4.000	7.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-75	92	-180	180
43	5.500	7.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-86	86	-155	-5
44	8.500	7.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-85	85	-145	-5
45	10.000	7.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-22*	*50*	-78	78
46	14.000	7.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-70*	*30*	-72	72
47	4.000	8.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-71*	*27*	-71	71
48	5.500	8.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-126	126	*-50*	*50*
49	7.000	8.500	P2	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-14*	*55*	*-55*	*55*
50	10.000	8.500	P2	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-61	60	-67	67
51	0.000	9.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*3*	*70*	-73	73
52	4.000	9.500	P2	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-29*	*24*	*-59*	*59*
53	10.000	9.500	P2	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-53*	*18*	*-53*	*53*
54	12.000	9.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-105	105	*-50*	*50*
55	14.000	9.500	P2	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-16*	*63*	-64	64
56	4.000	10.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-50*	*50*	-110	110
57	7.000	10.500	P2	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-63	63	*-55*	*55*
58	14.000	11.000	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-70*	*30*	-118	118
59	0.000	11.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-50*	*26*	*-26*	*50*
60	2.000	11.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-117	117	*-70*	*30*
61	4.000	11.500	P2	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-16*	*63*	-65	65
62	4.000	12.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-50	110	-110	50
63	5.500	12.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-180	180	*-70*	*30*
64	7.000	12.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-69	69	*-24*	*50*
65	10.000	12.500	P2	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-52*	*52*	*-19*	*52*
66	12.000	12.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	-150	150	*-70*	*30*
67	14.000	12.500	P1	深層混合処理工法(DGハイブリッド)	5.00	*-33*	*50*	*-33*	*50*

決定図
'26.10.19
設計課

記事

大和ハウス工業株式会社
北陸支社集合住宅一級建築士事務所　石川1156号

承認 管理建築士　照査
その他の設計者

代表となる設計者
一級建築士　381819号
井出菜々子　印
企画製図 生産製図 L C

工事名称　D－ROOMニツ屋町HM　新築工事
図面名称　各伏図

作成年月日　2026/10/8
縮尺
工事番号

図面番号　S-5-6